

テレワーク環境ツールの紹介

1. はじめに

昨今は新型コロナウイルスの流行に伴い、在宅ワークやモバイルワークが急速に広がりを見せる中で、様々なテレワークツールが活用されています。テレワークとは、テレ「離れた場所」ワーク「働く」を合わせた造語ですが、離れた場所での会議やセミナーに参加するには、テレワークツールを欠かすことができません。

今回は一般に使われているテレワークツールではなく、オンプレミス(自社設備による運用)でテレワーク環境を構築できる Big Blue Button(以下 BBB)というオープンソースソフトウェアをご紹介します。

オンプレミスとクラウド(図)は、各社の運用方法に応じて使い分ける必要がありますが、オンプレミス環境で自社運用することの利点は、情報セキュリティ面での安全性や運用方法に合わせたカスタマイズの自由度の高さが上げられるのではないのでしょうか。またプライバシーマーク取得のための会社の規定に準ずるためには、より安全性の高い運用が求められます。

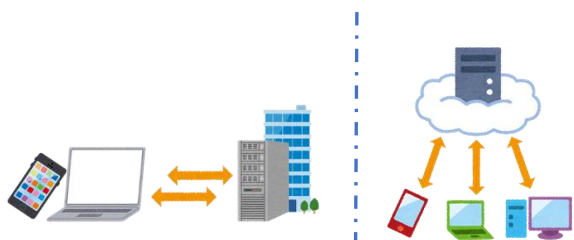


図 オンプレミス(左)とクラウド(右)のイメージ

2. BBBで実現できること

BBBは、Web会議システムとしてWebセミナー向けの機能、プレゼンテーションツールや録画機能を利用することができます。他にも以下の機能があります。

- ・ミーティング時間の制限なし
- ・Webブラウザからのウェビナー開催
- ・PDF資料を参加者と共有
(ホワイトボード機能もあり)
- ・参加者をグループに分け、オンライン上のグループディスカッション
- ・URLを知っている人のみに録画公開

このようにBBBは一般的なテレワークツールと同等以上の機能が充実しています。

3. BBBを構築するには

自社運用にあたり BBB を構築するには、OS やサーバー構築などの知識が必要となり、次のパソコン推奨スペックが求められます。

OS	Ubuntu16.04
CPU	8 コア
メモリ	16GB
HDD	500GB
ネットワーク帯域	1Gbps

また、推奨スペックでの利用人数は次のとおりです。

システム全体での利用人数	約 200 人
1 会議室あたりの利用人数	全員がビデオ、マイク ON の場合 約 15 人
	発話者以外が聴講のみの場合 約 50~100 人

4. センターにおけるテレワーク支援の取組み

令和2年11月に、中小企業向けにオープンソースを利用したテレワークの環境構築セミナーを開催しました。実施したアンケート結果では、参加者のおよそ30%がテスト導入を含めた導入を始めているとの回答がありました。業界にもよりますがこれからますます企業のテレワーク環境の導入が進むことが考えられます。

5. おわりに

あいち産業科学技術総合センターでは、2月下旬からオンライン会議システムの運用を始めています。技術相談に活用していますので、企業の皆様は積極的にご利用ください。(センターのWebページ(http://www.aichi-inst.jp/technical_assistance/support/post.html)「オンライン技術相談・技術指導の手順」によってお問い合わせ下さい。)

参考文献

- 1) 令和2年11月26日(木)「オープンソースを利用したテレワーク環境構築支援セミナー」
http://www.aichi-inst.jp/sangyou/other/seminar_movie/r21126.html



産業技術センター 総合技術支援・人材育成室 杉山儀 (0566-24-1841)
担当分野 : 総合的な技術相談、IoT 普及啓発